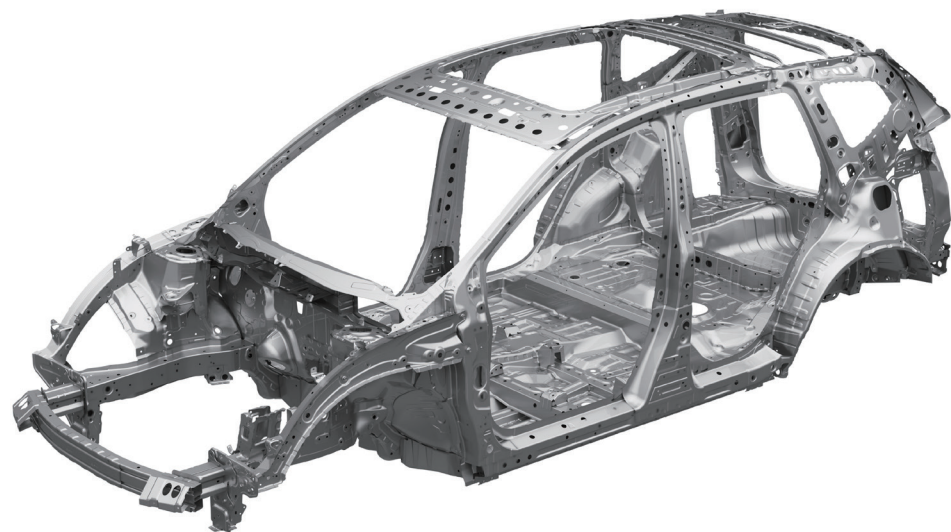


## 高い安心感と軽快な走りを支える基本骨格

### ドライバーのステアリング操作にダイレクトに応える高いボディ剛性 One Motion

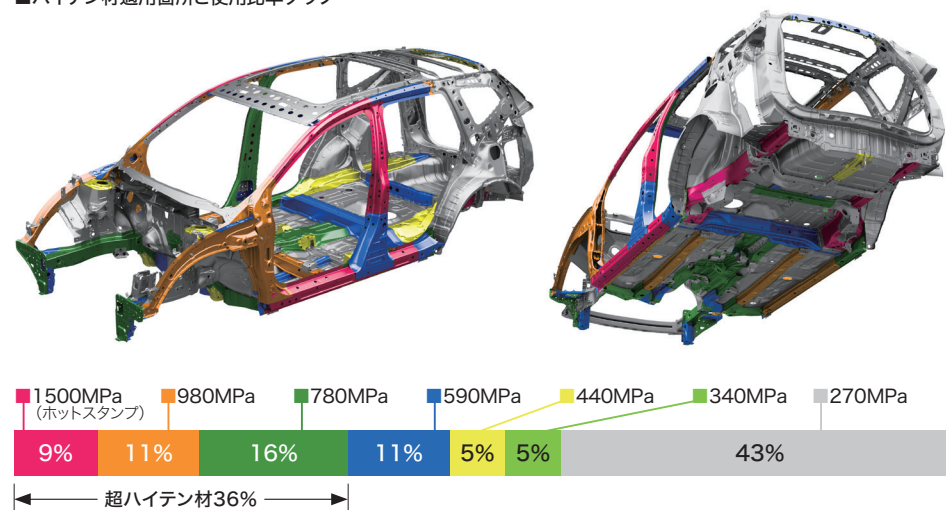
ドライバーの意思に忠実なハンドリングを実現するために、骨格剛性を追求。CAE解析を駆使するとともに、ハイテン材の増量や効果的な配置、結合構造の最適化などを徹底し、先代モデルより、ねじり剛性を25%、ボディ剛性のウエイト効率を表す指数L.W.I. (Light Weight Index)において20%の効率向上を達成しました。また、フロントバルクヘッドをオール樹脂製とするなど、車体前後を軽量化して低慣性化を図ったほか、走りに寄与する低重心化も追求。市街地はもちろん、高速道路やオフロードでも、高い安心感と上質な乗り心地を提供します。



### 超ハイテン材を各所に採用

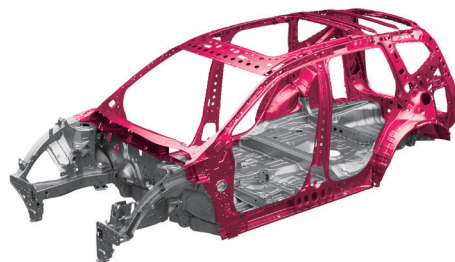
軽量で強度の高い超ハイテン材(高張力鋼板)をボディ骨格全体の36%に採用。1,500MPa級のホットスタンプ材をフロントピラーに使用することで、強度を保ちながら薄型化しました。また、サイドシルにもホットスタンプ材を使用するなど、必要な強度に応じてハイテン材を使い分けることで、優れた剛性と高い衝突安全性能を持つ軽量ボディを実現しています。

■ハイテン材適用箇所と使用比率グラフ



### インナーフレーム骨格構造を採用

ボディ全体の骨格部材を組み立ててから外板パネルを溶接するインナーフレーム構造を採用。主要なフレームの結合効率を高め強固なボディ骨格を形成することで、補強材を最小限にでき軽量化を実現しました。



### リアダンパー取付部の剛性向上

軽快なハンドリングと快適な乗り心地を追求し、リアダンパー取付部の剛性を向上させました。

